NTJU News

発行所：ヌヴォトン テクノロジージャパン労働組合
住　所：京都府長岡京市神足焼町1番地
発行人：山本　明広　　編集人：七里　大介

2021-No.08
2022年 3月 14日

2022年総合労働条件改善闘争 速報②

CONTENTS

・NTJU－NTCJ　No.1縮小交渉
・スト権投票結果報告

組合 組合員の挑戦意欲の喚起に向けて継続した「人への投資」が重要

会社 「人への投資」の重要性は理解するも経営基盤強化と投資とのバランスが重要

1　NTJU － NTCJ　No.1縮小交渉　3月 11日(金) 10時～

組合

「人への投資＝賃上げ」の要求は、上部団体の方針を踏まえ、コロナ禍での社会情勢や組合員の生活実態、さらには今次闘争で果たすべき社会的役割等を総合的に判断し決定した。

世界経済は、コロナ禍による行動制約があるものの、総じて回復基調となっている。日本経済は、政府の緊急事態宣言等による停滞があったものの、年度内にはコロナ禍前の水準まで回復することが見込まれている。

組合員は、現在の生活や将来への不安が増す中、コロナ禍における価値観の変化に柔軟に対応するとともに、感染リスクを伴いながらの出勤や慣れない在宅勤務等働き方が制限される中、労働の質を落とす事なくさらなる生産性向上に挑戦している。このことからも、継続した「人への投資」とともに、誰もが安心して働くことができる職場環境の整備や、多様な人材が活躍できる労働条件の維持・向上がますます重要になっている。

このような状況を踏まえ、ヌヴォトン テクノロジージャパン労組は、「生活不安」「雇用不安」「将来不安」の3つの不安を払拭し、組合員のさまざまな環境変化への挑戦意欲の喚起とモチベーションの維持・向上につなげ、多様な人材が安心して働ける職場環境を構築するために、継続した「人への投資」が重要であるとの考え方から月例賃金の引き上げと本給改定額表への反映、一時金を要求している。

会社

「人への投資」は重要だと考えるが、今、会社として、一番重要な事は、人への投資を通じた新たな基盤作りであると考えている。

会社としては、従業員が元気に事業活動に取り組めるための「モチベーションアップ」、「働き方を変える」ことにつながる機会の提供をしていくが、それにもまして社員自身が主体的にマインドチェンジする事が重要であり、そのために労使が一体となって取り組んでいくことが肝要と考える。

「人への投資」に関しては、賃金への反映だけでなく、事業基盤の強化、働く環境整備ついても積極的に投資を行っていく。事業の生成発展に向け、正のスパイラルを回していきたい。

国際情勢が更に不安定になっており、先が読めない中であっても、事業の成長と発展を確実に進める為には、更なる事業基盤の強化を加速していかなければならないと考えている。組合員の協力や努力には感謝している。しかし、将来にわたって事業競争力に大きな影響を及ぼす賃金水準改善については、慎重にならざるを得ない。また一時金については、本年度の黒字化が見通せる状況ではあるが、当社の経営実力も考慮し判断していきたい。時間が少ない中ではあるが引き続き論議していきたい。

【組合側】

【会社側】

スト権投票結果報告

３月１１日(水)１７時より、選挙管理委員会を開催し、２０２２年総合労働条件改善闘争の「スト権投票」の開票結果の確認を行いました。

開票の結果、スト権は以下の通りとなり、確立されましたのでご報告します。

※投票率 ： 95.1％（投票数／投票可能組合員数）

【スト権確立】 96.7%（賛成票数／投票総数）